

令和2年用 年末調整 記入用紙

※右下の記入の流れ・諸注意をよく読んでからご記入ください。

事業者 (会社名) 【事業者名 (会社名)】
 【住所】

扶養の人数がこの用紙に書ききれない場合は用紙の枚数→ 枚

本人

【フリガナ】 (男・女) 【生年月日】 大正・昭和 年 月 日
 平成・令和

【氏名】 【障害者】 一般障害・特別障害 【勤労学生】 該当する

【1人親・寡婦 (夫)】 該当する → 未婚・離婚・死別

〒 【住所】 都道府県 【前職の有無】 前職あり

【世帯主名】 本人・その他 () 【世帯主の続柄】 本人・その他 ()

本人

【フリガナ】 (男・女) 【生年月日】 大正・昭和 年 月 日
 平成・令和

【氏名】 【障害者】 一般障害・特別障害

【本人との続柄】 配偶者・子・親・その他 () 【本年中の給与の年収見込】 円 【給与以外の収入】 円

〒 【住所】 同居・別居 → 都道府県

扶養

【フリガナ】 (男・女) 【生年月日】 大正・昭和 年 月 日
 平成・令和

【氏名】 【障害者】 一般障害・特別障害

【本人との続柄】 配偶者・子・親・その他 () 【本年中の給与の年収見込】 円 【給与以外の収入】 円

〒 【住所】 同居・別居 → 都道府県

扶養

【フリガナ】 (男・女) 【生年月日】 大正・昭和 年 月 日
 平成・令和

【氏名】 【障害者】 一般障害・特別障害

【本人との続柄】 配偶者・子・親・その他 () 【本年中の給与の年収見込】 円 【給与以外の収入】 円

〒 【住所】 同居・別居 → 都道府県

控除証明書などの資料はこちらにホッチキスで止めてください。
 重ねて止めても大丈夫ですが、必ずめくれるようにお願いします。

■記入の流れ

i 本人欄の該当する箇所をご記入ください

●全員記入が必要

・氏名 ・フリガナ ・性別 ・生年月日 ・住所 ・世帯主 ・世帯主の続柄

●下記に該当する場合、丸印をつける ※記入のない場合は該当しないものとします

・障害者の区分 (障害者手帳のコピーを添付) ・勤労学生 ・1人親、寡婦 (夫) の区分・前職の有無 (源泉徴収票を必ず添付)

ii 扶養欄の該当する箇所をご記入ください (枠が足りない場合はこの用紙をもう1枚使用してください)

●扶養する方がいる場合 全員記入が必要

・氏名 ・フリガナ ・性別 ・生年月日 ・本人との続柄 ・同居・別居の区分 (別居の場合のみ住所を記入)

●下記に該当者する場合、丸印および記入が必要 ※記入のない場合は該当しないものとします

・障害者の区分 (障害者手帳のコピーを添付) ・本年中の給与年収見込み ・給与以外の収入 ・別居の場合住所

iii 添付書類を添付してください

●該当者のみ添付 ※添付・記入のない場合は該当しないものとします

・社会保険料控除証明書 ・その他の保険料控除証明書

※国民健康保険の証明書について、市区町村によっては発行されないことがあります

その場合は、今年中に支払う金額を算出して、下記の枠内にご記入ください

また国民年金や国民健康保険の領収書や通知書は添付しないでください

・住宅ローン控除関係書類 (連帯債務がある方は割合を記入) ・前職の源泉徴収票 ・障害者手帳

■諸注意

i すべての給与所得は法令で定められている通り、市区町村に報告いたします

ii 他に収入がある場合又は資料が不足している場合などは年末調整後に、ご自身で確定申告をおこなって下さい

保険	【社会保険】 ① 国民健康保険料 証明書 (領収書や通知書は不可) 上記に添付	※証明書がない方は今年の支払い金額を記入→	円
	② 国民年金 証明書 (領収書は不可)	上記に添付	
	【生命保険】 ③ 生命保険 控除証明書	上記に添付	
	【地震保険】 ④ 地震保険料 控除証明書	上記に添付	
	【他の保険】 ⑤ 小規模共済・確定拠出年金 証明書	上記に添付	
その他	【住宅借入】 ⑥ 住宅借入金特別控除申告書	上記に添付	
	⑥' 借入金年末残高証明書	上記に添付	
	⑥' 連帯債務の有無	該当者は記入 →	
	【前職】 ⑦ 前職の源泉徴収票	上記に添付	
	【障害者】 ⑧ 障害者手帳	コピーを上記に添付	

国民年金	年金以外
新 一般	旧 一般
会 計 事 務 所 記 入 欄	
介護保険	
新 年金	旧 年金
生命保険控除額	
地震保険	旧 長期保険
小規模共済	確定拠出年金
住宅ローン税額控除額	
比率 本人	割 : 相手 割